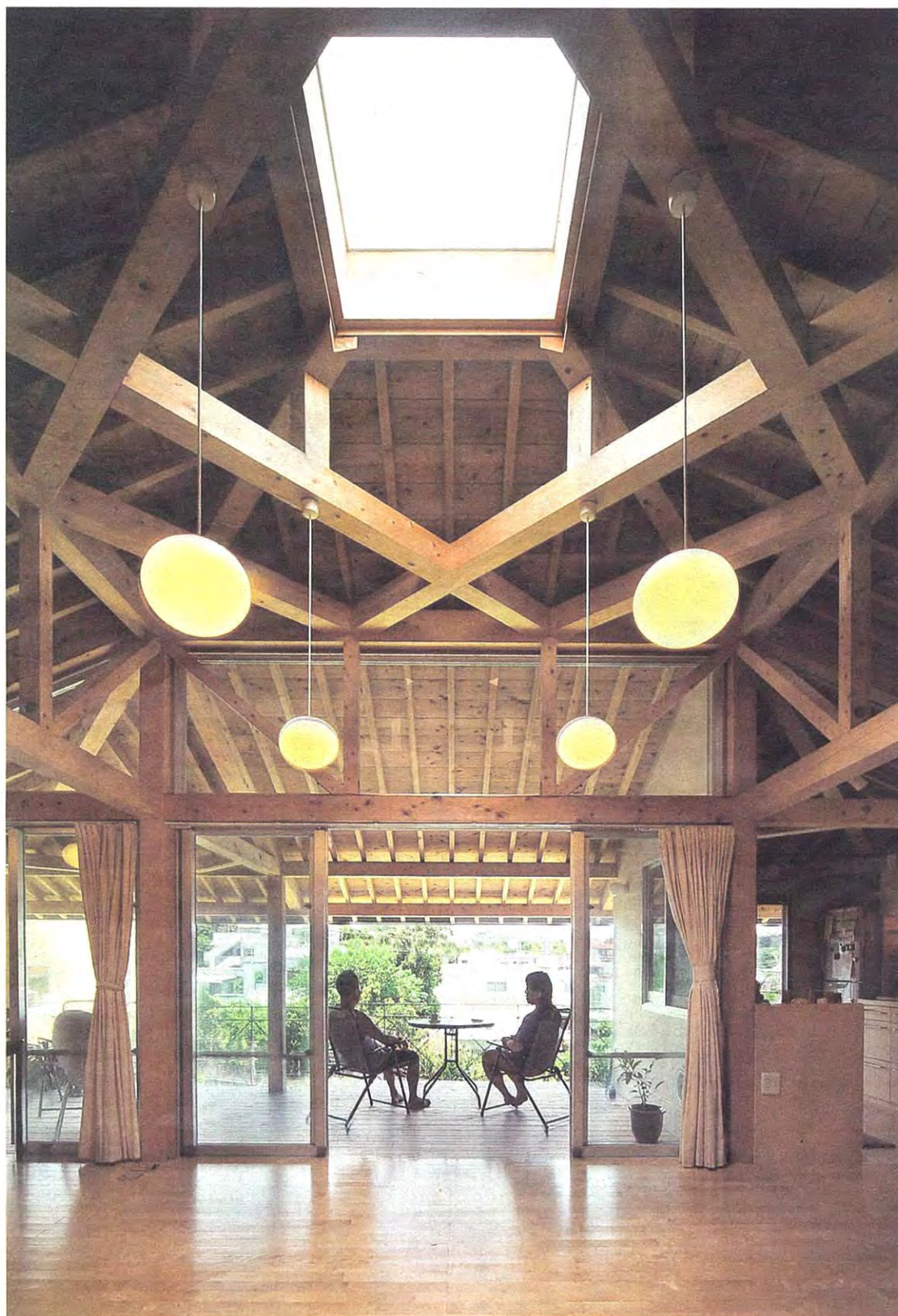


大川家具グループが始めました!
九州最大級の介護ショップ
助さん・たくさん
バリアフリー リフォーム、介護用品の
レンタルもお気軽にご相談下さい。
電話098-930-7900(スクエアアワセ内)



2階リビングからテラスを見る。木造の小屋組みが意匠となり、ワンルームの空間に変化をつけている。トップライトは開放感をさらに強調する(写真/高野生優・フォトアートたかの)

お住まい拝見

Tさん宅

緑豊かで閑静な、本島中部の古い集落に建つTさん宅。えんじ色の方形屋根が、どこかな集落の風景になじむ。定年退職を経て2度目の家づくりでできたのは、1階が鉄筋コンクリート造、2階が木造の混構造の住まいだった。Tさんは「夏涼しいのはもちろん、木の温かい質感に触れていた」という妻の要望からと振り返る。住み始めてから、約1年半。デッキ張りの2階テラスを中心に、風や緑を身近に感じる暮らしを、夫婦水入らずで楽しんでいる。

2階は木造 涼風舞う家

CONTENTS

- 5 脱力系FPのお金のこと
家具、家電代も忘れずに
- 11 和風庭園を見る/Kさん宅
建物に合った琉球庭園
- 12 かたづけ塾クロゼットの整理整頓・収納
整理ができれば7割成功
- 21 高齢になっても/傾聴ボランティア
孤立防ぎ地域とつなぐ
- 22 建築士の日特集
座談会「これからの住まいづくり」(下)
設計のさらなる工夫を

発行 (株)タイムス住宅新聞社

〒904-2234 沖縄県うるま市州崎7-14 ☎098-934-1122(代)

☎098-934-2287(編集部) ☎098-934-6677

http://www.jpresse.co.jp E-mail jyuutaku@jpresse.co.jp

検索するなら▶ タイムス住宅新聞 検索

沖縄タイムス 本紙は「沖縄タイムス」とセットで配達される副読紙です。購読の申し込みは上記の電話へ。

お住まい拝見 (Tさん宅)

テラスで屋外を身近に

ヒノキの香り漂う

Tさん夫妻の生活の中心は2階。階段を上りリビングに入ると、むき出しになったたくましいヒノキの柱や梁、スギの小屋組みに目を奪われ、室内を吹き抜ける風に、ヒノキの芳しい香りが舞う。

リビングの奥には、長くせり出した軒先まで広がるテラスが。ふんだんに室内へと吹きたむ南風に、時折、森を抜けた涼しい風が混ざって心地いい。屋外用のテーブルセットを最近買ったばかりでね。朝夕はここで食事をします。夕方は涼みながら、日本酒で一

杯やるのがいい。夜、庭から2階を見上げると、小屋組みだけが照明で浮かび上がって、それがきれいで見とれてしまふんだよなあ」と話すTさんの顔は満足げだ。

夫人もTさんと同じく、テラスがお気に入りです。「デッキに腰掛け、ヒノキの軒柱にも

たれながら、ぼーっと過ごすのが好き。趣味のフラダンスの練習スペースになればと思つて造ってもらいましたが、仲間を呼んで練習したものの、さすがに恥ずかしくて。まだ踊れていません」と笑う。

2階を木造にしたことで、屋根からのふく射熱がほとんどないことを実感している。「クーラーも、蒸し暑い日以外はほとんどかけないですね。前の家は鉄筋コンクリート造で、ふく射熱で夜暑かったことを思うと、ずいぶんと過こ

しやすい」と、夫妻は口をそろえる。

田んぼでトンボ観察

Tさん夫妻は以前、本島南部に建てた家に住んでいた。「築30年たつて、外壁のひび割れが目立つようになって。コンクリートの破片も落ちてきて、これは危ないと思い、もう一度、家を建てることにしました。子どもたちも独立していたので、せつかく建て

なら、妻が実家と行き来しやすいよう、妻の実家に近い地域に移り住もうと考えたんです」とTさん。

設計は、共通の友人を持つ建築士に頼んだ。「風がふんだんな沖縄で、それを家づくりに生かさない手はない」と、熱心に話していたことも決

手になりました。また夫妻で目星をつけた土地を建築士に見てもらい、アドバイスを聞いた上で今の土地を購入した。広い庭の一角には、約9平方

分の田んぼもこしらえた。「長年、害虫防除の仕事に携わっていたのですが、若いころ実習で体験したように、トンボが自然に集まり観察ができる場所をつくりたいと思ひましたね。コメの収穫はほどほどに、観察しています」と目を輝かせる。家に居ながら自然が身近に感じられる豊かな暮らしを、夫妻は手に入れたようだ。

(我那覇宗貴)



深い軒が陰を生む2階テラスでくつろぐTさん夫妻。テラスからの眺望を確保するため、軒先の床はあえて下げて造った。こちらの柱や梁もヒノキが使われている



2階テラス、リビング・ダイニング、和室のつながりを見る。屋根全体が室内はもとより、テラスまで覆っているように見える。木造部分は、柱や梁がむき出しになった真壁(しんかべ)工法で造られている



トイレを併設した1階洗面室。洗面化粧台と壁面収納の間を広くとった。奥は2階につながる階段

2階キッチン。正面の勝手口からテラスに行けるほか、シンク正面に設けられた窓からもテラスが見える



建築データ

- 家族構成：夫婦
- 敷地面積：403㎡(約122坪)
- 1階床面積：94.09㎡(約28坪)
- 2階床面積：88.88㎡(約27坪)
- 建ぺい率：41.32%(許容60%)
- 容積率：23.34%(許容100%)
- 用途地域：未指定
- 躯体構造：鉄筋コンクリート造(1階) 木造(2階)
- 設計：team DREAM(チーム ドリーム) 福村 俊治、比嘉 裕隆
- 構造：金箱構造設計事務所 金箱 温春、上田 学
- 施工：(株)喜納工務店
- 電気：(有)富江電気工事 富江 健
- 水道：健総設備 城間健栄
- 建築費：約2800万円

team DREAM ☎098・866・5038
http://www.dream-archi.com

福村俊治さんに聞く設計のポイント 沖縄で生かす木の家

Tさん宅は1階が鉄筋コンクリート造、2階が木造の混構造ですが、特に2階は、沖縄の住宅における木の使い方を提案したいと考え、造りました。

その一つが、スギ材より耐久性の高いヒノキ材を柱や梁、桁に使ったこと。また屋根裏を造らず、真壁(しんかべ)工法で小屋組みや柱・梁が見えるように造り、室内を吹き抜ける風で材を乾燥させ、耐久性を高める狙いもあります。台風対策として屋根の四隅と上部は、方杖(ほうせい)と火打ち梁で補強しています。

敷地は昔ながらの集落にあり、外観は、ウチナーヤーのような寄棟屋根とし、集落の景観になじむよう配慮。屋根材は、価格やメンテナンスのしやすさを考え、耐候性鋼板を使い、鋼板の熱が直接室内に行かないよう、野地板との間には断熱材を挟んでいます。

沖縄の住まいは、シンプルな間取りに、雨端のような半戸外空間で、風が吹き抜け、屋外と室内が緩やかにつながる造りが魅力。設計では、その点を現代の暮らしにどう反映させていくかを大切にしています。

Tさん宅の工夫 南に大きく開き 深い軒で陰生む



敷地南側、庭から見た外観。えんじ色の屋根は、鋼板製の方形屋根。左端には、Tさん念願のトンボを観察するための田んぼが見える

Tさん宅の工夫は、風通しの面で1階よりも有利な2階を木造にしていること。そうすることで、屋根の熱が建物全体に伝わりにくく上に、小屋組みがむき出しになった高い天井や、間仕切りの少ない間取り、南に開いたテラスからの風で、室内に熱がこもらないようにしている。さらにLDKといった生活の中心を上階に持つことで、1日のほとんどを快適な状態で過ごせるよう配慮されている。

上部を覆うように伸びた軒。それがテラスに陰を生み、南から室内へと吹き込む風を冷やし、心地いい風が室内全体に行き渡る仕組みになっている。また、デッキ張りにすることで、第2のリビングとして使いやすいだけでなく、高い天井と相まって、リビングを実際の床面積以上に広く感

じさせる効果もある。そのほか、夫妻の生活スタイルの変化にも対応しやすいよう、1階寝室の近くにはトイレや浴室を配置。もともと公私の空間を階層で分けてはいるが、玄関の近くに階段を設けることで、来客をリビングに直接招き入れることができるよう配慮されている。

内から外まで

こまめな換気 ヒノキも同様

Tさん宅の2階の柱や梁、桁に使われている木材は、ヒノキ。

同宅で使われたヒノキ材を

加工・搬入した(株)高嶺材木(本社・宮崎県日南市) 鹿児島営業所の宮路久生さんは、ヒノキ材の特長を「スギに比べて、

Tさん宅の柱と梁に使われているヒノキ。スギに比べて、木肌が白く、木目も細かい。コストを抑えるため、節がある材が使われている(編集部撮影)

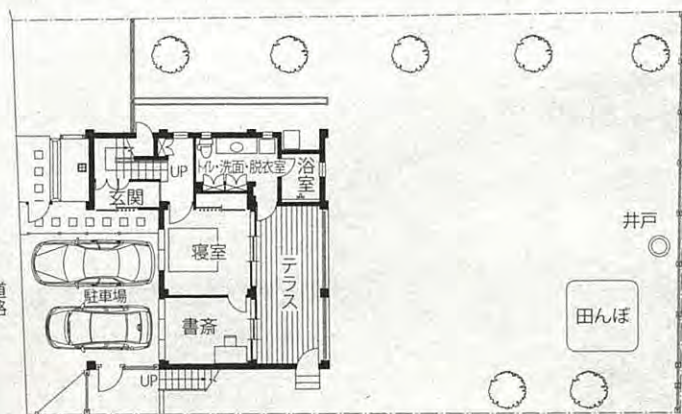


曲げや圧縮に強くて丈夫。木肌も白くて細かい、ヒノキならではの芳しい香りも魅力。本土では柱や梁、フローリングに使われます」と話す。丈夫さと見た目の美しさで価格はスギ材より高いものの、「節の多い材料であれば、極端に高くはならない」という。一方、ヒノキが持っている調湿作用を發揮させるためにはこまめな換気が大切であることを指摘し、「天気が良い湿度の低い日には窓を開け放って換気をし、雨の日ではできるだけ窓を閉め、エアコンで除湿するようにする。そうすることで、調湿作用の發揮はもちろん、カビを防ぎ、骨組みも長持ちさせることにつながります。ただし、エアコンの風が直接、ヒノキ材に当たると乾燥し過ぎてしまうので注意してほしい」とアドバイスした。

平面図



2階



1階